

授業名(時間割表記)	コミュニケーションスキルアップⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科Ⅰ年A	授業 形態	講義・演習	総時間(単位)	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/21	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4/28	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5/12	講義・演習	グループワーク: WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
4	5/19	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
5	5/26	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
6	6/2	講義・演習	グループワーク: 言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6/16	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6/23	講義・演習	グループワーク:もし～がなくなったら(プレスト)	教科書61ページを読む
9	6/30	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島(またはわたしのイメージ)	教科書3章を読む
10	7/7	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7/14	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
12	7/21	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	8/25	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅰ	教科書3章を読む
14	9/1	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅱ	教科書3章を読む
15	9/8	試験	CSU模擬試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デッサンⅠB	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	郷治
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー1年A	授業形態	実習	総時間 (単位)	90 (3)		
教員の略歴	東京芸術大学油画卒業／画家						
授業の学習 内容	絵を描くこと、そして何かを作ることの基礎体力として、デッサン力を磨きます。 デッサンにおいて重要なのは、見て気づくこと(観察力)、描いてみること(表現力)、この二つを繰り返してトレーニングすることです。 紙や鉛筆、木炭などアナログ素材に対して新鮮に取り組みながら、各自の表現力を磨くことを期待します。						
到達目標	道具の適切な扱い方の修得(鉛筆を削る・練りゴムを使う・鉛筆や測り棒を使って比率を測るなど) デッサンの用語とその意味の理解。 先入観にとらわれない、客観的な「観て描く」姿勢の修得。 デッサンする上で、「形態」「空間・光」「質感」「構図」について表現する力を身につける。						
評価方法と基準	「形態」「空間・光」「質感」「構図」 提出課題に対して、上記項目が表現出来ているかを評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/23	実習	剥製【デッサンについて】	クロッキー(人体・身の回りのもの)□
2	4/30	実習	〃	〃
5	5/7	実習	静物【楕円作図・比率・形】	〃
6	5/14	実習	〃	〃
3	5/21	実習	講評＋学生クロッキー【人体表現】	〃
4	5/28	実習	人物クロッキー【人体表現】	〃
7	6/4	実習	木炭デッサン(モンスター)	〃
8	6/18	実習	黒ビニール袋・水【黒を載せる・量感】	〃
9	6/25	実習	〃	〃
10	7/2	実習	石膏首像【比率・形】	〃
11	7/9	実習	〃	〃
12	7/16	実習	〃	〃
13	7/23	実習	講評＋学生クロッキー【人体表現】	〃
14	9/3	実習	人物クロッキー【人体表現】	〃
15	9/10	試験	課題評価	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	
【使用教科書・教材・参考書】				
デッサン用具一式(鉛筆・練りゴム・ガーゼもしくはティッシュ)				

授業名(時間割表記)	コミュニケーションスキルアップⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー1年B	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/21	講義・演習	グループワーク:授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4/28	講義・演習	グループワーク:好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5/12	講義・演習	グループワーク: WHO am I。自己分析	教科書2章を読む
4	5/19	講義・演習	個人ワーク:エゴグラム。心理テスト	授業後、自己分析のまとめ
5	5/26	講義・演習	グループワーク:ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
6	6/2	講義・演習	グループワーク: 言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6/16	講義・演習	プレゼン:おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6/23	講義・演習	グループワーク:もし～がなくなったら(プレスト)	教科書61ページを読む
9	6/30	講義・演習	グループワーク:なぞの宝島(またはわたしのイメージ)	教科書3章を読む
10	7/7	講義・演習	グループワーク:ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7/14	講義・演習	グループワーク:日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
12	7/21	講義・演習	グループワーク:How much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	8/25	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅰ	教科書3章を読む
14	9/1	講義・演習	グループワーク:わたしのイメージ(NASA)Ⅱ	教科書3章を読む
15	9/8	試験	CSU模擬試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅠA	必修 選択	選択	年次	1年	担当教員	鈴木 弥栄子
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー1年B	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了。画家。						
授業の学習 内容	絵を描くことの基本は観察することです。 アニメ表現として最終的に輪郭と色面で平面的に表現するとしても、その過程において対象を立体的に捉えることが重要です。 デッサンでは、対象を観察する・描写する・修正するという一連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術や質感描写、陰影描写、画面構成力を身につけます。また、クロッキーでは人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を養います。						
到達目標	基礎的な観察力と描写力の習得を目標とします。授業内で様々なモチーフを描き、デッサンやクロッキーを重ねることで、絵を描くことへの苦手意識を軽減し、上達する楽しさを実感できるようにします。 前期では画材や描画に慣れ、作品の完成を目指すことを目標とし、後期では個別講評を取り入れながら、より深い理解を目指します。						
評価方法と基準	以下を評価の基準とし、総合的に判断します。 作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度、授業態度						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習（学習課題）
1	4月22日	講義・実技	ガイダンス／画材説明／グレースケール制作	グレースケールを完成させる
2	5月13日	講義・実技	立方体のスケッチ	身近な箱をスケッチしてみる
3	5月20日	講義・実技	球体と円柱のスケッチ	身近な球体と円柱をスケッチしてみる
4	5月27日	実技	屋外スケッチ	好きなキャラの絵を決めコピーしてくる
5	6月3日	実技	イラスト模写(好きなキャラクター)1	イラスト模写を完成させる
6	6月17日	実技	イラスト模写(好きなキャラクター)2	イラスト模写を完成させる
7	6月24日	実技	写真模写1	逆さまデッサンを完成させる
8	7月1日	実技	写真模写2	逆さまデッサンを完成させる
9	7月8日	実技	りんごのデッサン	身近なものをスケッチしてみる
10	7月15日	実技	慣らしクロッキー(持ち回り)	1日15分のクロッキー(週5枚)
11	7月22日	実技	女性モデルクロッキー	夏休みの課題
12	8月26日	実技	男性モデルクロッキー	1日15分のクロッキー(週5枚)
13	9月2日	実技	手と足のクロッキー	復習(手と足のクロッキー)
14	9月9日	講義・実技	透明化・単純化クロッキー	復習(透明化・単純化クロッキー)
15	9月16日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 適宜プリントを配布				
【持参する画材】デッサン道具一式(鉛筆セット・練りゴム・消しゴム・カッター・クロッキー帳)、講評用メモ帳				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	正村
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー2年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	東北芸術工科大学大学院修了/作家						
授業の学習 内容	デッサンを通じて、平面表現についての知識と技術を学ぶ。 デッサンとは、形、質感、空間を把握するための基礎となります。 美術における基礎科目であり、デザインなどの専門実習へとつながる導入としての位置づけです。 目に見える情報をそのまま描くのではなく、構造や本質を探究して、ものを見る力を養うことを目的としています。						
到達目標	・鉛筆の特性を活かし、明暗(トーン)の階調をコントロールできる。 ・対象の形を客観的に観察し、大きなプロポーションを正しく捉えられる。 ・質感や奥行きを表現するための基本的な描写技法を習得する。 ・構造や本質を捉える観察眼を養う。 ・ものを作ることに向き合う基礎体力を身につける。 ・ポートフォリオに掲載可能なデッサン作品の制作						
評価方法と基準	課題の提出数と、デッサン力からなる表現能力から評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/21	実習	剥製	仕上げて提出
2	4/28	実習	〃	仕上げて提出
3	5/12	実習	〃	仕上げて提出
4	5/19	実習	〃	仕上げて提出
5	5/26	実習	人物クロッキー(女性)	仕上げて提出
6	6/2	実習	人物クロッキー(男性)	仕上げて提出
7	6/9	実習	風景デッサン	仕上げて提出
8	6/16	実習	〃	仕上げて提出
9	6/23	実習	細密デッサン(造花)	仕上げて提出
10	6/30	実習	〃	仕上げて提出
11	7/7	実習	石膏デッサン+α	仕上げて提出
12	7/14	実習	〃	仕上げて提出
13	7/21	実習	〃	仕上げて提出
14	9/1	実習	〃	仕上げて提出
15	9/8	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン道具一式(鉛筆・ねりゴム・ガーゼもしくはティッシュ)				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	荒井
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー2年B	授業形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習 内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、画力、構成力を身につけるため沢山描くことにより上達する						
到達目標	様々な対象、空間を時間をかけた密度の高い絵、短い時間で素速く描くクロッキーなど時間に応じた描写力を習得する						
評価方法と基準	課題提出数 課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/23	講義と実習	図学遠近法について講義 直方体を描く	遠近法を意識して身近なものを描く
2	4/30	講義と実習	図学遠近法について講義 回転体を描く	図学遠近法の復習と身近なものを描く
3	5/7	実習	町中の風景をスケッチ ペン画	遠近法を意識してペンで風景を描く
4	5/14	講義と実習	パースペクティブによる描写Ⅰ 工業製品	日用品を描く 四角いもの
5	5/21	実習	パースペクティブによる描写Ⅱ 空間と物体	日用品を描く 丸みのあるもの
6	5/28	実習	石膏デッサン トルソーor首像	白い布で物体を包み描く
7	6/4	講義と実習	つづき	
8	6/18	実習	身体描写Ⅰ クラスメートを描く	身近な人をモデルにクロッキー
9	6/25	講義と実習	身体描写Ⅱ 女性ヌードクロッキー	人物写真の模写
10	7/2	実習	自然物の描写Ⅰ 花の質感表現	花をスケッチする
11	7/9	実習	自然物の描写Ⅱ 野菜の質感表現	野菜果物を描く
12	7/16	講義と実習	身体描写Ⅲ 男性セミヌードクロッキー	人物写真の模写
13	7/23	実習	石膏デッサン 胸像	身体のパーツ手、足など描く
14	8/27	実習	つづき	
15	9/3	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				
鉛筆セット カッターナイフ 練りゴム 消しゴム クロッキー帳				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅢA	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	正村
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー3年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	東北芸術工科大学大学院修了/作家						
授業の学習 内容	デッサンを通じて、平面表現についての知識と技術を学ぶ。 デッサンとは、形、質感、空間を把握するための基礎となります。 美術における基礎科目であり、デザインなどの専門実習へとつながる導入としての位置づけです。 目に見える情報をそのまま描くのではなく、構造や本質を探究して、ものを見る力を養うことを目的としています。						
到達目標	・鉛筆の特性を活かし、明暗(トーン)の階調をコントロールできる。 ・対象の形を客観的に観察し、大きなプロポーションを正しく捉えられる。 ・質感や奥行きを表現するための基本的な描写技法を習得する。 ・構造や本質を捉える観察眼を養う。 ・ものを作ることに向き合う基礎体力を身につける。 ・ポートフォリオに掲載可能なデッサン作品の制作						
評価方法と基準	課題の提出数と、デッサン力からなる表現能力から評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/24	実習	剥製	仕上げて提出
2	5/8	実習	〃	仕上げて提出
3	5/15	実習	〃	仕上げて提出
4	5/22	実習	〃	仕上げて提出
5	6/5	実習	人物クロッキー(女性)	仕上げて提出
6	6/19	実習	人物クロッキー(男性)	仕上げて提出
7	6/26	実習	風景デッサン	仕上げて提出
8	7/3	実習	〃	仕上げて提出
9	7/10	実習	細密デッサン(造花)	仕上げて提出
10	7/17	実習	〃	仕上げて提出
11	7/24	実習	石膏デッサン+α	仕上げて提出
12	8/28	実習	〃	仕上げて提出
13	9/4	実習	〃	仕上げて提出
14	9/11	実習	〃	仕上げて提出
15	9/18	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン道具一式(鉛筆・ねりゴム・ガーゼもしくはティッシュ)				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅢB	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー3年B	授業形態	実習	総時間 (単位)	90 3		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習 内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、画力、構成力を身につけるため沢山描くことにより上達する						
到達目標	様々な対象、空間を時間をかけた密度の高い絵、短い時間で素速く描くクロッキーなど時間に応じた描写力を習得する						
評価方法と基準	課題提出数 課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/23	講義と実習	幾何学形態を描くⅠ 直方体の遠近法	図学遠近法の復習と身近なものを描く
2	4/30	講義と実習	幾何学形態を描くⅡ 回転体の遠近法	図学遠近法の復習と身近なものを描く
3	5/7	実習	風景を描くⅠ 空間の遠近法	遠近法を意識して風景を描く
4	5/14	講義と実習	図学遠近法の実践Ⅰ 工業製品をモチーフに	日用品を描く 四角いもの
5	5/21	実習	図学遠近法の実践Ⅱ 日用品をモチーフに	日用品を描く 丸みのあるもの
6	5/28	実習	動物をスケッチ	動物の写真を模写
7	6/4	講義と実習	身体描写Ⅰ 自画像or身体パーツ	手、足、目、耳など細密描写する
8	6/18	実習	身体描写Ⅱ クラスメートを描く	身近な人をモデルにクロッキー
9	6/25	実習	身体描写Ⅲ 女性ヌードクロッキー	人物写真の模写
10	7/2	実習	自然物の描写Ⅰ 花など 質感表現	野菜果物を描く
11	7/9	実習	自然物の描写Ⅱ 野菜など 質感表現	野菜果物を描く
12	7/16	講義と実習	石膏デッサン トルソー	白い紙を丸めて描く
13	7/23	実習	石膏デッサン 胸像	白い紙で包んだものを描く
14	8/27	実習	つづき	
15	9/3	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				
鉛筆セット カッターナイフ 練りゴム 消しゴム クロッキー帳				

授業名(時間割表記)	デッサンⅢA	必修選択	選択	年次	3	担当教員	野畑
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー3年C	授業形態	実習	総時間(単位)	60 2		
教員の略歴	美術作家・美術講師						
授業の学習内容	特に就活のためのポートフォリオ作出を目的としたクラスになります。 CG及びその他クリエイションのための基礎として観察に基づく素描を行います。 自身の成果・他者の良いところを共有し合う目的の講評を行います。 TCAでの講師経験から、各人の趣向、経験値の違いを大幅に考慮した複数メニューのモチーフ選択を基本とし、それぞれのレベルに応じた成長をサポートしてゆきます。						
到達目標	良質なポートフォリオ素材候補を複数出してゆく。 またそのレベルを随時更新してゆく。						
評価方法と基準	「状況と質感の伝達」を標準的な達成レベル指標とし、各人のモチベーションと継続、苦手な部分の克服、成長幅などに基づいて評価を行います。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4/23	ガイダンス	授業概要・自己紹介		
2	4/30	制作・講評	静物デッサン・B3画用紙 鉛筆		
3	5/7			課題提出できるように	
4	5/14	制作・講評	石膏デッサン・木炭紙大 鉛筆or木炭		
5	5/21			課題提出できるように	
6	5/28	制作・講評	人物モデル・クロッキー・デッサン		
7	6/4			課題提出できるように	
8	6/18	制作	屋外スケッチ(雨天延期)	課題提出できるように	
9	6/25	制作・講評	・友人クロッキー ・静物卓及び石膏デッサン選択 ・講評		
10	7/2				
11	7/9			課題提出できるように	
12	7/16	制作・講評	・友人クロッキー ・静物卓及び石膏デッサン選択 ・講評		
13	7/23				
14	8/27			課題提出できるように	
15	9/3	試験	課題評価試験		
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口		
【使用教科書・教材・参考書】					

授業名(時間割 表記)	デッサンⅢB	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
学科・コース	eエンターテインメント科昼ー3年C	授業形態	実習	総時間 (単位)	90 3		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習 内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、画力、構成力を身につけるため沢山描くことにより上達する						
到達目標	様々な対象、空間を時間をかけた密度の高い絵、短い時間で素速く描くクロッキーなど時間に応じた描写力を習得する						
評価方法と基準	課題提出数 課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/23	講義と実習	幾何学形態を描くⅠ 直方体の遠近法	図学遠近法の復習と身近なものを描く
2	4/30	講義と実習	幾何学形態を描くⅡ 回転体の遠近法	図学遠近法の復習と身近なものを描く
3	5/7	実習	風景を描くⅠ 空間の遠近法	遠近法を意識して風景を描く
4	5/14	講義と実習	図学遠近法の実践Ⅰ 工業製品をモチーフに	日用品を描く 四角いもの
5	5/21	実習	図学遠近法の実践Ⅱ 日用品をモチーフに	日用品を描く 丸みのあるもの
6	5/28	実習	動物をスケッチ	動物の写真を模写
7	6/4	講義と実習	身体描写Ⅰ 自画像or身体パーツ	手、足、目、耳など細密描写する
8	6/18	実習	身体描写Ⅱ クラスメートを描く	身近な人をモデルにクロッキー
9	6/25	実習	身体描写Ⅲ 女性ヌードクロッキー	人物写真の模写
10	7/2	実習	自然物の描写Ⅰ 花など 質感表現	野菜果物を描く
11	7/9	実習	自然物の描写Ⅱ 野菜など 質感表現	野菜果物を描く
12	7/16	講義と実習	石膏デッサン トルソー	白い紙を丸めて描く
13	7/23	実習	石膏デッサン 胸像	白い紙で包んだものを描く
14	8/27	実習	つづき	
15	9/3	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				
鉛筆セット カッターナイフ 練りゴム 消しゴム クロッキー帳				